

令和 2 年度の事業報告書

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

NPO 法人 介護予防支援リハフィットネス大分

1 事業の成果

今年度は世界的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外出自粛や人との接触回避などの対応が取られ、当法人の活動にも多大な影響があった。特に地域での啓発活動の減少、受益者数の減少、事業継続のための借り入れ、正職員 1 名の離職などに至った。

介護予防フィットネス事業では、坂ノ市、佐賀関地域の虚弱高齢者を対象とした介護予防教室「パワーアップ教室」の大分市委託事業を実施。会場は地域公民館を使用しているが、コロナ感染拡大防止対応のため 4 月、5 月の利用が禁止となり事業に影響が出た。外出自粛による高齢者の生活不活発が問題となっているため、地域包括支援センターや大分市長寿福祉課と連携し、高齢者の課題解決に向けた支援を行った。当方の理学療法士・作業療法士の運動・動作指導に加え、外部より言語聴覚士による口腔ケア・嚥下指導の実施や栄養士による栄養指導も行い、生活機能の低下した虚弱高齢者に対して介護予防に取り組んだ。更に、月 1 回、教室参加者の自宅に訪問し、生活行為の改善や自宅での運動方法・動作指導を実施し、より参加者への厚い支援を実施することができた。

身体機能の調整を目的としたコンディショニング事業では、集団での介護予防教室への参加が適さない方や、より個別に指導を行ってほしいというニーズに応じて、マンツーマンの介護予防指導「介護予防リハコンディショニング」を実施。法人施設「コンディショニングルーム」や利用者宅、介護施設にて運動指導・動作指導を行い、さらに住宅の環境や福祉用具の選定などもアドバイスすることで、その方の活動を維持するための支援も行った。例年と比較し、接触回避のため事業を利用する方の減少がみられ、また介護施設も入室制限の対応をとるところも多く、利用者の減少がみられた。この事業は利用者増加が見られていたため、昨年度理学療法士 1 名の増員を図ったものの、諸事情も重なり離職となってしまった。

介護予防や健康に関する指導・講演等の事業では、地域の老人会やサロン、地域包括支援センターや大分県社会福祉介護研修センターから講演依頼を頂き、転倒予防や生活習慣病予防等の講演を行い介護予防の啓発を行った。地域の多くのサロンや老人会は軒並み開催中止となり、啓発活動の減少を余儀なくされた。そういった状況もあり、ステイホーム下での高齢者の生活不活発リスクが高まったため、新たな取り組みとしてメディアを活用した介護予防活動の取り組みを行った。大分ケーブルネットワークの介護予防番組制作に協力し、自宅で出来る運動や嚥下体操、認知症予防等の講師として出演し指導を実施した。番組は YouTube でも見られるようアーカイブされ活用を促した。他の取り組みとして、NPO 博に参加し一般市民への介護予防啓発や法人 PR を実施。また、小学生の父親有志の会「おおいたおやじネットワーク」の研修会にて、コロナ禍での健康づくりということで、中高年の参加者に対して自宅で出来る運動等の指導も行った。

介護施設からの依頼で入所者に対する介護予防の為の運動方法指導や介助法の指導などを入居者、施設スタッフに実施。「リハコンサルティング」として、3 法人 6 施設へ定期的な指導を行った。コロナ感染拡大の第 1～3 波での、感染者数増加に合わせて、施設の入室制限等の対応がなされたた

め、指導できない施設もあったが、当方としても感染対策に万全を図ることや、施設の示す基準に合わせることで事業実施を行った。

福祉用具や健康関連商品等のアドバイス・販売事業は、主に運動を指導する中で使用するバランスディスクやストレッチポール等の運動器具を、自宅でも活用してもらうためにその使用方法指導や販売を実施した。販売目的ではないため、受益者数は少ないが介護予防教室や個別指導で行った事を自宅で自主的に行うことができ、体調管理、セルフケアの支援につながった。

今後も介護予防活動に取り組む法人としてのPRを地道に行い、ニーズの高い個別での介護予防指導や、講演活動や施設指導を通して受益者拡大を図って行きたいと考えているが、来年度も新型コロナウイルス感染症の動向が読めない部分もあり、現状行っていることを継続していくことが大切であると考えている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数
①介護予防フィットネス事業	地域住民が要介護状態に至らぬよう、身体機能の維持・向上、健康の増進につながる介護予防教室事業（大分市委託）を行った。内容としては運動・栄養・口腔機能の知識、介護予防の方法を学び、各々が抱える生活課題改善のための指導を実施し、また参加者の自宅に月1回訪問指導を行って、個別性の高い指導を行った。	(A) ○パワーアップ教室 ：毎週木曜 9:30～11:30 (B) ○パワーアップ教室 ：佐賀関公民館 (C) ○パワーアップ教室 ：6人	(D) 坂ノ市、佐賀関 地域在住の高 齢者 (E) ○パワーアップ 教室： 延べ580名/年
②身体機能の調整を目的としたコンディショニング事業	地域住民が要介護状態に至らぬよう、身体機能の維持・向上、健康の増進につなげるために、身体機能の調整を目的としたリラクゼーションや整体・運動指導・動作指導等、個別の介護予防指導を実施。その方の抱える課題解決にむけたアドバイスや個別化したプログラムを実施した。	(A) 利用者の希望日時で随時実施。1回40～60分のマンツーマン指導。 (B) 法人施設、利用者宅（施設含む） (C) 3人	(D) 地域在住の高 齢者、中高年 (E) 延べ2322名 /年
③介護予防や健康に関する指導・講演等の事業	地域のサロンや老人会、地域包括支援センターや大分県福祉介護研修センター等からの依頼で、介護予防に関する講演を実施。NPO博への参加やケーブルテレビ局の介護予防番組作成への協力も行った。また、介護施設からの依頼で入所者に対する介護予防の為の運動方法指導や介助法の指	(A) ○講演：1回1時間～2時間。 講演回数は全11回。 ○リハコンサルティング（施設指導）： 各施設毎月1～4回程度。 指導回数は58回。 (B) 公民館、老人憩いの家、研修施設、介護施設等。	(D) 地域在住の高 齢者、中高年、 施設スタッフ (E)933人/年

	導などを入居者、施設スタッフに実施した。	(C) 1人	
④福祉用具や健康関連商品等のアドバイス・販売事業	自宅での運動や活動を促すため、必要な方に対して、身体機能を手助けする福祉用具、健康増進に寄与する運動器具等を、その方にあった最適な物を提案、販売した。	(A)随時 (B)利用者宅、法人施設 (C)1人	(D)地域在住の中高年、高齢者、障害者 (E)6人/年
⑤身体機能を補う住宅改修のアドバイス事業	*今年度実施せず	(A) (B) (C)	(D) (E)

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

介護予防支援リハフィットネス大分

自 令和2年 4月 1日 至 令和3年 3月31日

【経常収益】			
【事業収益】			
自主事業収益	11,981,354		
受託事業収益	2,777,915	14,759,269	
【その他収益】			
受取利息	42		
雑収益	721,805	721,847	
経常収益計			15,481,116
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料手当(事業)	9,990,800		
法定福利費(事業)	1,906,132		
福利厚生費(事業)	59,490		
人件費計	11,956,422		
(その他経費)			
売上原価	39,889		
業務委託費	110,000		
諸謝金	110,000		
旅費交通費(事業)	1,200		
車両費(事業)	531,305		
通信運搬費(事業)	124,359		
消耗品費(事業)	160,768		
水道光熱費(事業)	23,464		
地代家賃(事業)	450,000		
賃借料(事業)	82,560		
減価償却費(事業)	153,312		
保険料(事業)	89,200		
租税公課(事業)	532,200		
支払手数料(事業)	140,770		
その他経費計	2,549,027		
事業費計		14,505,449	
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
通信運搬費	16,044		
消耗品費	35,139		
水道光熱費	9,041		
地代家賃	150,000		
広告宣伝費	27,500		
接待交際費	80,452		
租税公課	1,050		
支払手数料	1,430		
支払利息	5,638		
その他経費計	326,294		
管理費計		326,294	
経常費用計			14,831,743
当期経常増減額			649,373
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			649,373
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			578,373

活動計算書

介護予防支援リハビリフィットネス大分

[税込] (単位: 円)

自 令和2年 4月 1日 至 令和3年 3月31日

前期繰越正味財産額
次期繰越正味財産額

3,570,595

4,148,968

貸借対照表

介護予防支援リハフィットネス大分
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和3年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	533,932		
普通預金	5,776,601		
現金・預金計	6,310,533		
(売上債権)			
売掛金	2,025,440		
売上債権計	2,025,440		
流動資産合計		8,335,973	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器備品	1		
有形固定資産計	1		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	1		
無形固定資産計	1		
(投資その他の資産)			
敷金	100,000		
投資その他の資産計	100,000		
固定資産合計		100,002	
資産合計			8,435,975
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	675,933		
預り金	77,074		
流動負債合計	753,007		
【固定負債】			
長期借入金	3,534,000		
固定負債合計	3,534,000		
負債合計		4,287,007	
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		3,570,595	
当期正味財産増減額		578,373	
正味財産合計		4,148,968	
負債及び正味財産合計			8,435,975

財 産 目 録

介護予防支援リハフィットネス大分
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和3年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	533,932
普通 預金	5,776,601
大分銀行	(843,706)
大分信用金庫	(243,464)
大分みらい信用金庫	(4,689,431)
現金・預金 計	<u>6,310,533</u>

(売上債権)

売 掛 金	<u>2,025,440</u>
売上債権 計	<u>2,025,440</u>

流動資産合計

8,335,973

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品	<u>1</u>
有形固定資産 計	<u>1</u>

(無形固定資産)

ソフトウェア	<u>1</u>
無形固定資産 計	<u>1</u>

(投資その他の資産)

敷 金	<u>100,000</u>
投資その他の資産 計	<u>100,000</u>

固定資産合計

100,002

資産合計

8,435,975

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	675,933
預 り 金	77,074
所得税	(77,074)
流動負債合計	<u>753,007</u>

753,007

【固定負債】

長期借入金	3,534,000
日本政策金融公庫	(1,534,000)
首藤康弘	(2,000,000)
固定負債合計	<u>3,534,000</u>

3,534,000

負債合計

4,287,007

正味財産

4,148,968